

# 飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日  
 ガバナー 右近 八郎  
 ガバナー補佐 海老原 三博  
 会長 斎藤 孝裕  
 幹事 菅野 浩司

2023-24年度  
地区スローガン

ロータリーの  
誇りを  
楽しもう!

世界に希望を生み出そう

2023 - 2024 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぽのこころ 吉川屋  
 RI会長 ゴードン マッキナー 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433  
 サウス・クイーンズフェリーRC (スコットランド)

9月は基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間

通算

## 第10回 [ 3126 ] 例会報告 令和5年(2023) 9月14日(木)

出席委員会報告

|      |        |
|------|--------|
| 会員総数 | 36名    |
| 出席会員 | 22名    |
| 欠席会員 | 14名    |
| 出席率  | 61.11% |

### 言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 斎藤孝裕 会長

◆ロータリーソング [我等の生業] 白岩裕和 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 伊藤俊憲 職業奉仕委員

◆お客様紹介 飯坂消防署 署長 菅野寿男 様

【9月のご家族お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪  
 9月21日 鈴木祐市様(牧子会員) 9月23日 鈴木ヨリ子様(義明会員)

🎵 今週の誕生日 🎵 9月17日 横山 辰徳 会員  
 9月19日 堀切 孝敏 会員 9月19日 石黒 智子 会員 🎵

.....lunch time.....

### ◆会長の時間



先ずもって、前回欠席、大変申し訳ありませんでした。本日はゲストとして、飯坂消防署長菅野様をお迎えいたしました。今日はありがとうございます。後ほどスピーチの方、よろしく願いいたします。ここで残念なお知らせですが、元会員の中野哲郎様が一昨日お亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。前回、私は欠席でしたので、完成した年次計画書を初めて見させていただきました。皆さん、ご覧になったと思います。すでに9月ですので、所信表明ではありませんが『温故知新』という、諸先輩方の教えをいただきながら、新しい風を取り入れなければ、会は疲弊して無くなってしまわないかというような思いを持ったので、このような4文字にさせていただきました。これに今年度一年間、思いを託します。具体的には、もちろん「四つのテスト」を踏まえたクラブ運営ですが、他クラブとの交流を盛んに行い、会員相互の意見交換、親睦を深めてまいりたいということが記載されております。ただ、どうしても飯坂ロータリークラブが吉川屋さんで例会を行っているところで、必ずそちらで例会をやりたいと言われるので、若干、飯坂クラブの会員の皆さんには、ご苦労をかけてしまうことになるかとは思いますが、受付等でお手数をおかけするところはあると思いますが、来月の合同例会に向けて、準備をしてみたいと思います。よろしくお願いいたします。

ロータリーソング 四つのテスト



### ◆地区職業奉仕委員会 第1回阿久津肇「寛容塾」の報告 西山友幸 委員長

過日に職業奉仕委員会のセミナーがウェブで行われました。私もウェブ上で参加いたしました。その中で阿久津先生が講演をされましたが、大変思慮深い話をされておりました。まず、ポール・ハリスさんのロータリー発祥の話から始まったのですが、その中で一番印象に残ったのは「四つのテスト」の話でした。「四つのテスト」は原文を見ると、日本語では表現がされていないというような言い方をされて、阿久津先生も原文を英語でお読みになっており、これはちょっと日本語訳とは違うなという話をされておりました。会の中で英語が堪能な会員の方がいらっしゃるといいますので、何かチャンスがありましたら、そのようなことにもチャレンジしてもらいたいと思います。以上です。ありがとうございました。

### ◆スマイリングBOX 横山辰徳 小副委員長 【合計25s】

- 斎藤 孝裕 会員 5s 飯坂消防署 署長 菅野寿男様をゲストにお迎えして 前回欠席お詫び
- 石川 邦俊 会員 3s 菅野署長スピーチ宜しく願い致します。中野さんを偲んで
- 安斎 忠作 会員 3s 菅野飯坂消防署長様をお迎えして
- 堀切 孝敏 会員 3s 中野君残念です。私も75才、がんばろう!
- 佐藤喜市郎 会員 3s 飯坂消防署長菅野様をお迎えして
- 佐藤 真也 会員 2s 菅野寿男飯坂消防署長をゲストにお迎えして
- 畠 隆章 会員 2s 飯坂消防署長菅野寿男様をお迎えして
- 千葉 政行 会員 2s ・飯坂消防署 署長をお迎えして
- 西山 友幸 会員 2s 欠席おわび!!



ゲストスピーカーを紹介する  
伊藤俊憲 会員

100円献金13,630円  
皆様のご協力ありがとうございました!

電子版 ID・パスワード  
ID: 2530-00257  
PW: 00257-231

## ◆ゲストスピーチ

### 飯坂消防署 署長 菅野寿男 様



改めまして、こんにちは。飯坂消防署署長の菅野寿男と申します。よろしくお願ひいたします。日頃、消防行政にロータリークラブの皆様方には、いろいろな協力、ご理解をいただきまして、誠に感謝しております。それでは、自己紹介から始めさせていただきます。私は昭和57年に福島市消防本部の消防士として拝命をさせていただきました。それから42年間、消防業務に携わってまいりまして、今年の4月から飯坂消防署の署長として勤めることになりました。そして、今回は飯坂大火につきまして、皆様方に講話という形になりますが、お話をすることに大変感謝しております。以前、私の5代前の署長が飯坂大火について、飯坂大火を体験した方、当時の飯坂大火を知る方を探して、お聞きした内容をまとめたものを、今回、新たに私の方から皆様方にご紹介したいと思ひます。今から79年前、昭和19年7月1日に湯野の民家から火災が発生しました。71戸の住宅を焼いて、さらには午後10時30分頃、稲荷屋旅館が炎上し、炎上した建物が崩壊と同時に摺上川を越え、飯坂町の若喜旅館に燃え移って、昔の飯坂消防署があった古館の辺りまで火事が広がったという話です。火事が消えたのは翌日ということで、この火災により、旅館及び民家が202棟、そして、1300人の罹災者を出したという火事になっております。カラーの写真が残っておりましたので、今回、皆様にご紹介させていただきます。こちらにつきましては、飯坂大火の写真集ということで、飯坂消防署玄関ロビーの所に写真と地図を展示しております。福島民報さんの当時の新聞を見ていただきたいと思ひます。翌日の7月2日の新聞ですが、戦時中のため福島民報の一面は大本営発表の「小笠原南方海面で空母二隻撃沈、艦船16隻撃破」という記事が出ており、飯坂大火については載っていません。当時の消防は警察の一部として消防隊というものがあったということで、7月3日の福島民報の朝刊記事に福島県の警察部長が話されたことが記事として出ております。飯坂町の警棒団はじめ町民各位の必死の消防活動ではありましたが、大火になったことは誠に残念かつ申し訳ないと思ひているというのも含めて、先ほどの上田警察部長さんの話で、大火になった原因ということで『地理的な原因、飯坂、湯野、共に南北に走る道路は一つしか無かった。それをつなぐ橋は十綱橋一つしか無かった。橋の入口が火元になったため、消防機械の出入りが塞がれた。また、摺上川を挟んで30メートルを超える崖になっている。河川利用として摺上川が不可能だった。川はあったが水利の便が無かった。そして、湯野側の旅館が倒壊して、飯坂側へ延焼してしまった。今後ということで、崖を利用して高層建築物をつくる時の考慮の余地がある。道路の幅を拡張。そして、飯坂と湯野を結ぶ橋の増設を望む。そして、火を消すための防火の水槽、消火栓の増設ということが必要である』ということ当時語っていたということです。これは当時、戦局の悪化に伴い、東京空襲に備え、内務省が比較的空襲が少ない東北地方、さらには関東各県の市町村から消防ポンプを東京に持ち運んでいた。よって、飯坂でも消防ポンプが無くなっていたということが大火になった原因に考えられます。飯坂にはガソリンポンプが1台と、古い腕用ポンプが4台しか無かったと、当時の消火に関わった方の証言がありました。また、ガソリンの質も良くなかったので、ガソリンポンプを動かすまでに手間取ったというような話でした。当時を知る、取材した当時91歳（飯坂大火当時19歳）の方の証言をちょっとお話ししたいと思ひます。この火事の原因ですが、湯野在住の26歳だった女性の方が、鮎の天ぷらを揚げていたところ、電話が入って、火をかけたまま天ぷら鍋から離れて、鍋に火が入って、付近に燃え広がったというのが真実のようです。概要につきましては、猛暑が続き6月でも雨がほとんど降らなかった。さらには摺上川の水量がいつもの年よりもだいぶ少なかった。最初は風が無かったので、飯坂町は川もあるから湯野からは絶対に燃え移らないだろうと飯坂側の人は火事を見ていたそうです。そうしたところ、稲荷屋さんが崩れ落ち、対岸の若喜旅館に延焼すると、風が飯坂側の方に吹き込みはじめ、にわか強い風が吹きまくって、2キロ先の湯野の明神町、3キロ先の東湯野まで飛火したとおっしゃっています。そして、摺上川はお湯のように熱くなっていた。消火方法は道路を起点として、防火帯を作る破壊作戦を行ったことにより、人力でのバケツリレーと旧式の腕用ポンプで屋根に水を散水することであった。人的被害ですが、これだけの大きな大火でしたが、亡くなった方はいなかったということ。さらには戦時下ということで、地域住民の団結力が非常に強かった。町会での世帯数ごとの人員、要援護者の世帯が把握されており、避難誘導を確実に行ったことが功を奏したということなのですね。今でいう防災につながって、防災意識が非常に強かったという時代のようなようです。しかしながら、消防団員という火を消す若い人たちが戦時下でいなかった。また、当時の気象状況は6月21日に雨が降ったのですが、その日の内から晴れて、晴れの日が続きました。気温も7月上旬から30度を超えており、今年のような暑さでした。それが6月から続いていたということです。火事についての確たる証拠、そして、確たる火災原因としての判定ということまではいきませんが、こういうことが考えられるということで、皆さんにお話をしたいと思ひます。これはアメリカのイエローストーン国立公園でも発生した火災旋風ですが、火事が起こったことにより、ものすごい風が舞い上がって、炎と共に竜巻のような形で燃え広がる爆発的な火災威力。そして、この火災旋風の温度は1000度を超えています。この輻射熱で、この近くにはとてもいられないというのが火災旋風です。原因は、ここに発生した火災が空気を消費し、火災が発生していない周囲から空気を取り込むことで、局地的な上昇気流が生じ、燃焼している中心部分から熱せられた空気が上層へ吐き出され、それが炎となったものが旋風になる竜巻状になった炎です。最後に、飯坂温泉街の摺上川兩岸の火災防御の難しさについて、昭和19年の時点で明確に指摘されております。インフラの整備はもちろんですが、出火建物から延焼拡大させないことと、対岸の建物への輻射熱による延焼防止を図ることが作戦として重要となります。この「飯坂大火考察」ということにつきましては、最終的には確たる証拠というものではないのですが、こういう風にいっぺんに燃え移ることによって、大きな竜巻のようなものが起こって、広く、そして、範囲が川を渡っても燃え広がったというようなことが考えられるということで、飯坂大火のお話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長